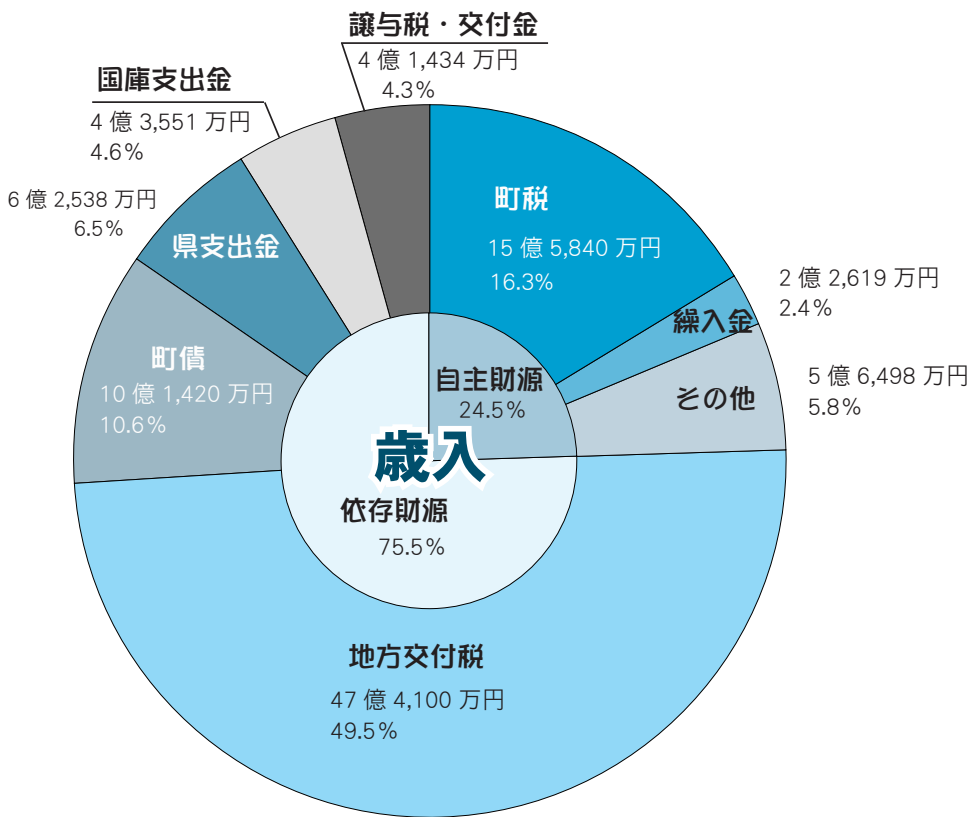


# 大山の恵みを受け継ぎ 元気な未来を拓く

## まちづくり



その他は、分担金及び負担金 1 億 1,095 万円、使用料及び手数料 1 億 621 万円、財産収入 1,402 万円、諸収入 2 億 1,772 万円など

# 95 億 8 千万円

### 1・3%減の予算

平成 20 年度予算が、3 月定例議会において可決、成立しました。まちづくりの基本となる一般会計予算は 95 億 8 0 0 0 0 0 0 円で、昨年度より 1 億 3 0 0 0 0 0 0 万円、1・3%の減となっています。

これは、中山小学校耐震補強及び大規模改修工事約 2 億 9 千万円、大山中学校技術棟改築工事約 1 億 6 千万円などの大型事業が昨年度終了したことや、行財政改革による人件費、補助金の見直しなどが大きな要因となっています。

### 後期高齢者医療特別会計

平成 20 年度から後期高齢者医療特別会計が新たに設置され、22 の特

別会計となりました。特別会計の総予算額は 70 億 4 3 3 9 万円、昨年度より 12 億 8 2 7 4 万円、15・4%の減となっています。(特別会計および 2 つの企業会計の予算額の詳細は次ページ表のとおりです)

### 依然として厳しい財源状況

行財政改革などにより財政健全化に向けた取り組みがなされ、人件費、物件費等が減少傾向にあるものの、依存財源の割合が 75・5%と非常に高く、交付税等の制度改正に大きく影響されます。さらに、平成 18 年度に行った情報通信基盤整備事業の元金償還の発生など、依然として厳しい財政状況が続いています。今後とも行政サービスが低下しないよう、効率的な行財政運営に努めます。

### 用語解説

- ◎一般会計  
町が行う基本的施策をまかなう予算
- ◎特別会計  
一般会計と区別し、特定の事業を行うための予算
- ◎自主財源  
町税や使用料、手数料など町が独自に確保できる財源
- ◎依存財源  
地方交付税や国や県からの支出金など自主財源以外の財源
- ◎地方交付税  
町の財政規模に応じて、一定の基準により交付される収入金
- ◎国庫(県)支出金  
特定の事業に対して国(県)から交付される支出金
- ◎繰入金  
各種基金などから一般会計へ繰り入れた財源